



Jems News

No. 158

2026年5月15日

日本環境変異原ゲノム学会

<https://www.j-ems.org>

***** 学会・シンポジウム開催のお知らせ *****

「日本環境変異原ゲノム学会 第55回大会（東京）」のお知らせ

大会会長：戸塚 ゆ加里（星薬科大学）

日本環境変異原ゲノム学会第55回大会は、2026年11月14日・15日に星薬科大学（東京都品川区）にて開催致します。本大会のテーマは「ゲノム科学で探る、環境要因と健康リスク」といたしました。環境要因によって誘発されるゲノム・エピゲノム変化と、それらが健康リスクへと結びつく分子機構について、基礎研究から応用研究、さらには規制科学に至るまで、分野横断的な議論の深化につながるような特別講演やシンポジウムの企画を進めております。また、国際的な視点からの議論を深めることを目的として、健康リスクに関して共通の課題を有すると考えられる韓国および台湾の関連学会との合同シンポジウムも企画しております。さらに、医療機器の遺伝毒性評価に関するシンポジウム開催も予定しており、アカデミアのみならず企業からご参加の方々にも高い関心を持っていただけるものと思います。

大会1日目の夜には情報交換会も行いますので、皆さん是非ご参加ください。

なお、本大会では一般シンポジウムを公募しています。詳細は大会webサイトにてご確認ください。

現段階の開催概要は以下の通りです。

1. 日程

2026年11月14日（土）～11月15日（日）

QSARワークショップ、評議員会、研究会定例会は前日11月13日（金）に予定

2. 会場

星薬科大学

〒142-8501 東京都品川区荏原2-4-41

最寄駅：東急池上線 戸越銀座より徒歩約8分

東急目黒線 武蔵小山より徒歩約15分

都営浅草線 戸越より徒歩約10分

[\(https://www.hoshi.ac.jp/gaiyou/map/\)](https://www.hoshi.ac.jp/gaiyou/map/)

3. 大会テーマ

「ゲノム科学で探る、環境要因と健康リスク」

4. 特別講演

小川 誠司 先生（京都大学大学院・医学研究科・腫瘍生物学講座）

5. シンポジウム・ワークショップ

日韓台・合同シンポジウム1：ゲノム科学による環境要因と発癌メカニズムの解明（仮）

日韓台・合同シンポジウム2：環境汚染物質が誘発するゲノムおよびエピゲノムの変化（仮）

日本語シンポジウム1：医療機器の遺伝毒性評価（仮）

日本語シンポジウム2：一般から公募

ワークショップ（併催・11月13日開催予定）：QSAR関連ワークショップ（仮）

6. 情報交換会

2026年11月14日（土）夕刻～

シティーホール&ギャラリー五反田

五反田JPビルディング（旧：ゆうぽうと） [\(https://gotanda-hall.jp/\)](https://gotanda-hall.jp/)

7. 実行委員：

石井 雄二（国立医薬品食品衛生研究所）

石ヶ守 里加子（星薬科大学）

岡本 誉士典（名城大学薬学部）

川西 優喜（大阪公立大学）

佐々 彰（千葉大学）

椎崎 一宏（東洋大学）

橋爪 恒夫（日本たばこ産業株式会社）

長谷川 晋也（星薬科大学）

濱田 修一（ボゾリサーチセンター）

福田 隆之（ボゾリサーチセンター）

藤本 透（メディフォード株式会社）

今井 正彦（星薬科大学内協力者）

真壁 朋子（星薬科大学内協力者）

8. 運営事務局：株式会社センキョウ

担当：長谷川 美貴，岩淵 あやか

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-4-2

Tel: 022-236-7161 fax: 022-236-7163 Mail: jems2026@senkyo.co.jp

9. 大会webサイト

<https://www.jems2026.jp/>

2026年度（令和8年度）日本環境変異原ゲノム学会公開シンポジウム

「私たちがリスクから守る仕組み：分子メカニズムからレギュラトリーサイエンスまで」

本公開シンポジウム「私たちがリスクから守る仕組み：分子メカニズムからレギュラトリーサイエンスまで」では、私たちの生活を便利で豊かにしている化学物質が、使い方を誤ることで健康被害をもたらす可能性があるという現実を踏まえ、そのリスクをどのように科学的に理解し、社会として管理していくのかを多角的に議論します。化学物質による健康影響を未然に防ぐためには、毒性発現の分子メカニズムを解明する基礎研究に加え、実際に私たちがどの程度曝露されているのか、そしてその曝露がどの程度の健康リスクにつながるのかを定量的に評価するレギュラトリーサイエンスの視点が不可欠です。本シンポジウムでは、食品安全委員会における食品健康影響評価の実際、次世代シーケンサーを用いた変異シグネチャー解析、規制

上求められる遺伝毒性試験や Pig-a 試験，化学物質管理の最新動向，さらに肝臓オルガノイドを用いた新規試験法の妥当性評価など，幅広い専門領域の演者が登壇し，基礎から応用，行政的視点までを一体的に紹介します。令和 8 年度は初めての地方開催となり，環境変異原研究の裾野を広げる絶好の機会です。東海地域の薬系大学にも広く参加を呼びかけ，将来研究者を志す学生にとって，最前線の科学と社会実装のつながりを学ぶ貴重な場となることを期待しています。

日 時：2026 年 6 月 13 日（土）13:00-16:25

開催場所：名城大学薬学部 新 1 号館 7 階 ライフサイエンスホール
（名古屋市天白区八事山 150 番地）

アクセス：名古屋市営地下鉄「八事駅」徒歩 7 分

<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/yagoto.html>



開催形式：現地およびオンラインのハイブリッド形式

参加費：無料，事前申込要

事前登録：<https://forms.office.com/r/2RyzeLkBnk>



（5 月 30 日（土）登録締切）

後 援：公益社団法人 日本薬学会
一般社団法人 日本毒性学会

【プログラム】

13：00-13：05 開会の辞 紙谷 浩之（日本環境変異原ゲノム学会会長/広島大学）

13：05-13：10 はじめに 世話人 岡本 誉士典（名城大学薬学部）

13：10-13：45 「レギュラトリーサイエンスの最前線：食品の安全性を評価する」
頭金 正博 先生（食品安全委員会・委員）

13：45-14：20 「産業化学物質管理の転換点を迎えて」
豊岡 達士 先生（独立行政法人労働者健康安全機構・労働安全衛生総合研究所）

14 : 20-14 : 55 「エラー修正シーケンス法を用いた突然変異の検出とその応用」
杉山 圭一 先生 (国立医薬品食品衛生研究所・ゲノム安全科学部)

14 : 55-15 : 10 (休憩)

15 : 10-15 : 45 「化学物質リスク評価に資する遺伝毒性評価の高度化：DNA損傷応答解析の意義と可能性」
堀端 克良 先生 (国立医薬品食品衛生研究所・ゲノム安全科学部)

15 : 45-16 : 20 「3D培養技術を用いた化学物質の遺伝毒性評価」
石ヶ守 里加子 先生 (星薬科大学・衛生化学研究室)

16 : 20-16 : 25 おわりに 世話人 松田 俊 (京都大学大学院工学研究科)

第9回 遺伝毒性試験国際ワークショップ

9th International Workshop on Genotoxicity Testing (9th IWGT) の登録が始まっています。本ワークショップはICEMのサテライトミーティングとして企画され、世界中の規制機関、学術界、産業界を代表する専門家が様々なトピックスについて対面で議論し、その結論は学術誌に投稿されます。

日時: 2026年9月1日(火)～9月4日(金)

場所: 英国エジンバラ The John McIntyre Conference Centre

トピックス:

- ・肝臓小核試験
- ・OECD TG489の技術的な重要項目
- ・異数性物質のリスク評価
- ・統計検定に関するトレンド
- ・定量的遺伝毒性学2.0
- ・Error-Corrected Sequencing
- ・In silico/QSARの長所と短所

大会HP (<https://www.iwgt.org/>) で参加登録とプログラム詳細のご確認が出来ます。

第14回国際環境変異原学会

14th International Conference on Environmental Mutagens (14th ICEM) の登録が始まっています。4年に1度の国際大会ですので、JEMSからも多くの会員の皆様が参加されることを願っております。JEMS会員の講演も予定されています。

日時: 2026年9月6日(日)～9月10日(木)

場所: 英国エジンバラ EICC (The Edinburgh International Conference Centre)

大会テーマは“Blending new technology with traditional genotoxicity approaches to solve real world problems”で、30件のシンポジウム、10件の基調講演、ならびに環境変異原性、ゲノミクスおよび関連分野の研究者によるポスターセッションが予定されています。大会HP (<https://icem2026.org/>) で参加登録とプログラム詳細のご確認が出来ます。

第8回アジア環境変異原学会

第8回 ACEM (Asian Conference on Environmental Mutagens) の情報です.

日時 : 2027 年 3 月 ~ 4 月 (調整中)

主催 : タイ王国 Silpakorn 大学 薬学部 (<https://www.su.ac.th/en/>)

大会長 : Dr. Pornsak Sriamornsak (Silpakorn 大学 薬学部長)

(国際担当理事 橋本 清弘, 戸塚 ゆ加里)